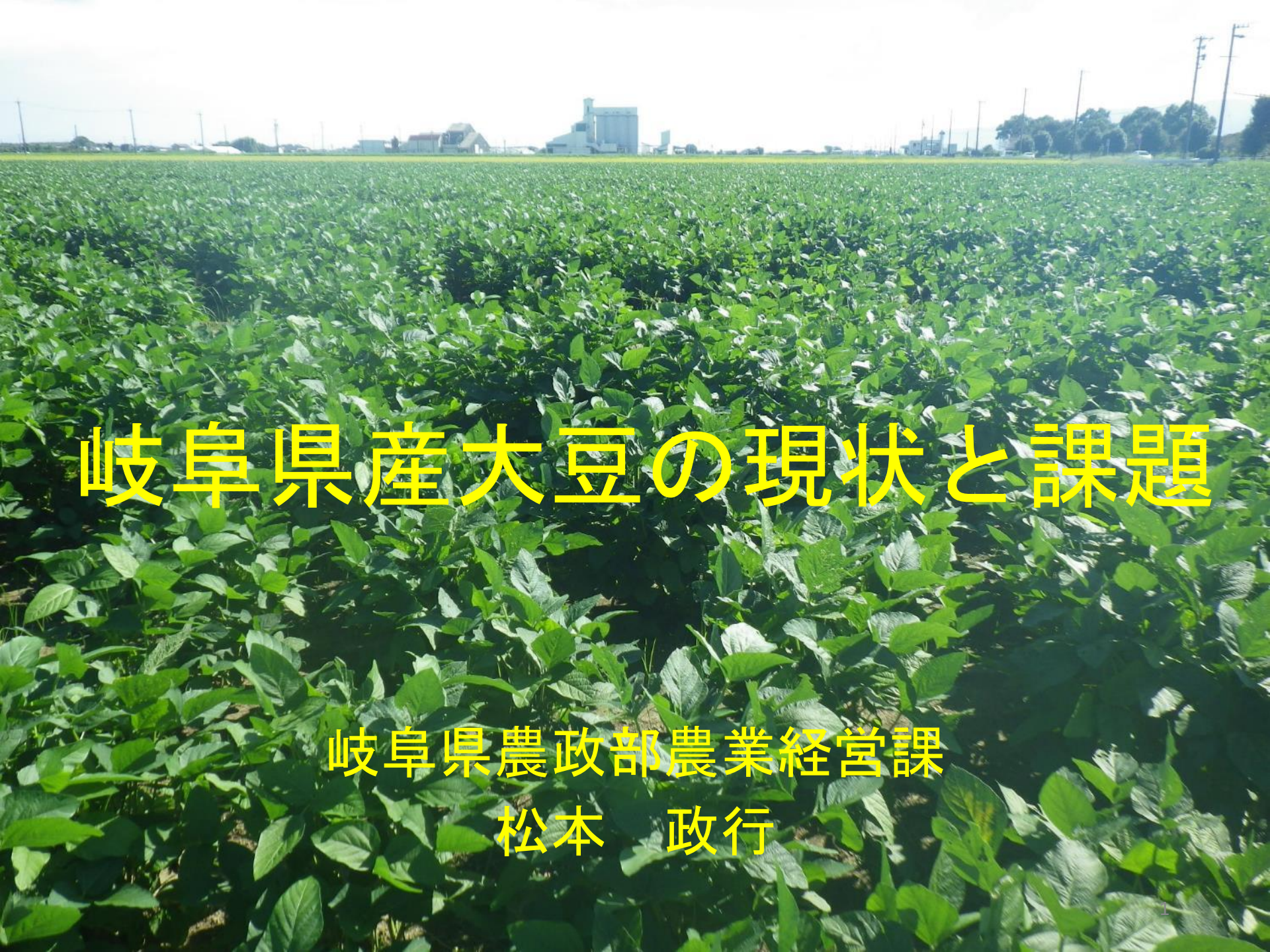




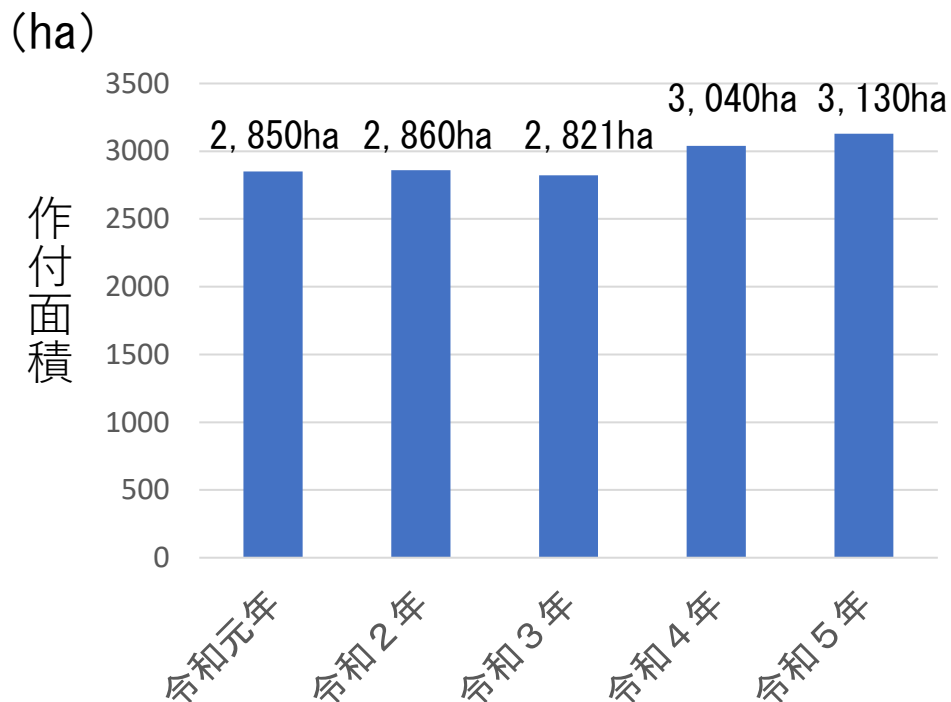
岐阜県産大豆の現状と課題

岐阜県農政部農業経営課

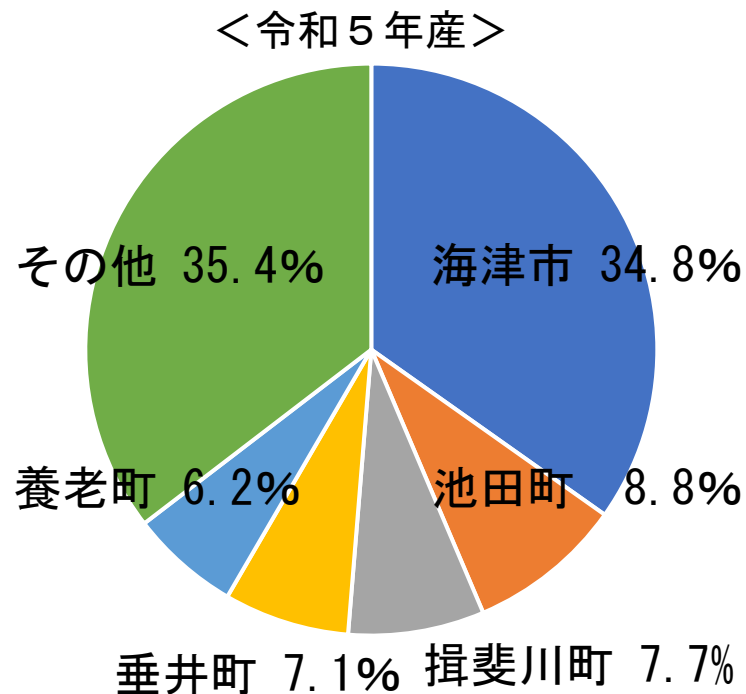
松本 政行

大豆の作付面積

農林水産省 作物統計より引用



【県産大豆の作付推移】



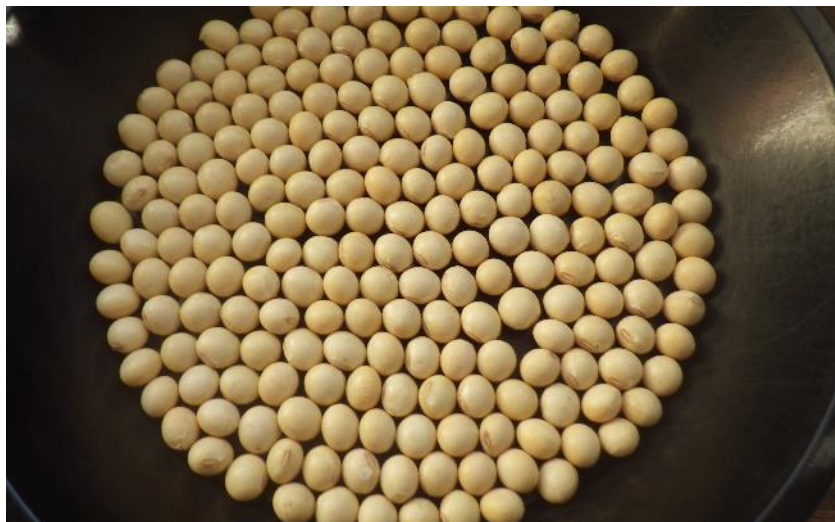
【市町村別大豆作付割合】

●岐阜県での大豆作付は、毎年**3,000ha前後**

●市町村別では、海津市を筆頭に**西濃地域での作付が多い**

大豆の作付品種

実需者ニーズに合致した品種



【フクユタカ】

- ・平成5年奨励品種に採用
- ・平坦地帯にて作付け
- ・晩播にも耐えられる
- ・**県産大豆面積の95%**を占める
- ・豆腐加工適性が高い



【里のほほえみ】

- ・令和4年奨励品種に採用
- ・中山間地帯にて作付け
(標高200~500m)
- ・県産大豆面積の2%を占める
- ・豆腐加工適性が高い

その他、中鉄砲や黒大豆など**地域特産的**な作付もある。

大豆の作付体系

各ＪＡごとの栽培こよみに基づく

<平坦地のフクユタカ>

- 輪作体系の中の１作物（水稲 → 麦類 → 大豆）
- 麦刈り（６月上～中旬）ののち、同一水田に大豆は種

	適 期 は 種	狭 畦 は 種
は 種 期 間	7 月 5 日～7 月25日	7 月26日～8 月 5 日

※狭畦は種は、条間30～50cm。は種期間は各ＪＡごとに若干前後する。

<中山間地の里のほほえみ>

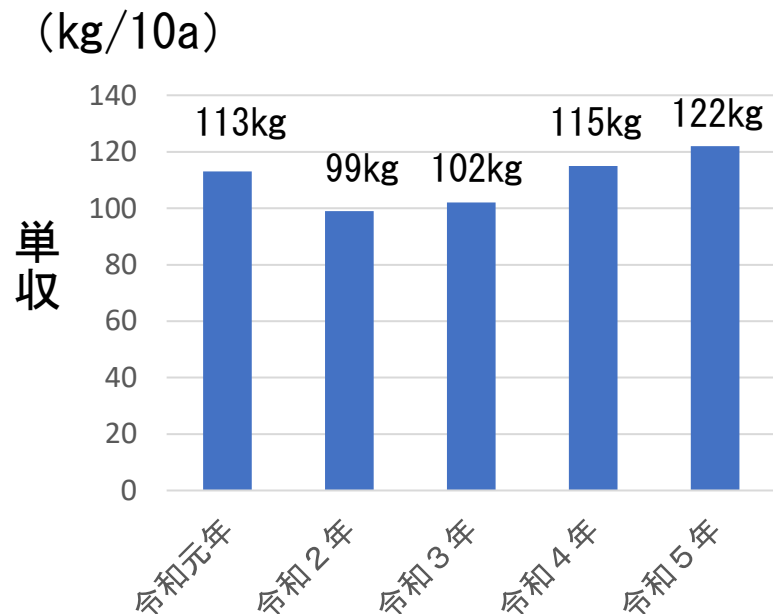
- １年１作での栽培（年ごとに水稲 ⇄ 大豆）
- 春作業（田植え）を終えてから、作付予定地に大豆は種

	適 期 は 種
は 種 期 間	5 月30日～6 月20日

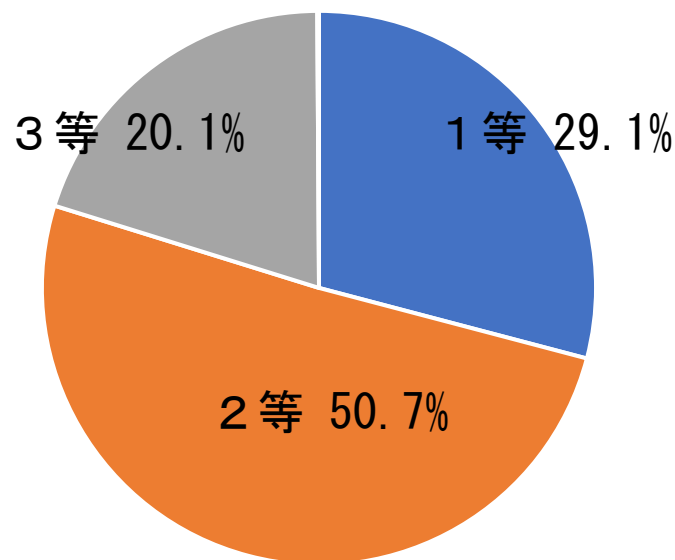
大豆の生産実績

農林水産省 作物統計より引用

＜令和5年産＞



【県産大豆の単収推移】



【格付等級割合】

- 岐阜県での大豆単収は、毎年100～120kg/10a 前後
- 岐阜県での大豆品質は、2等中心（3等が多い年もある）

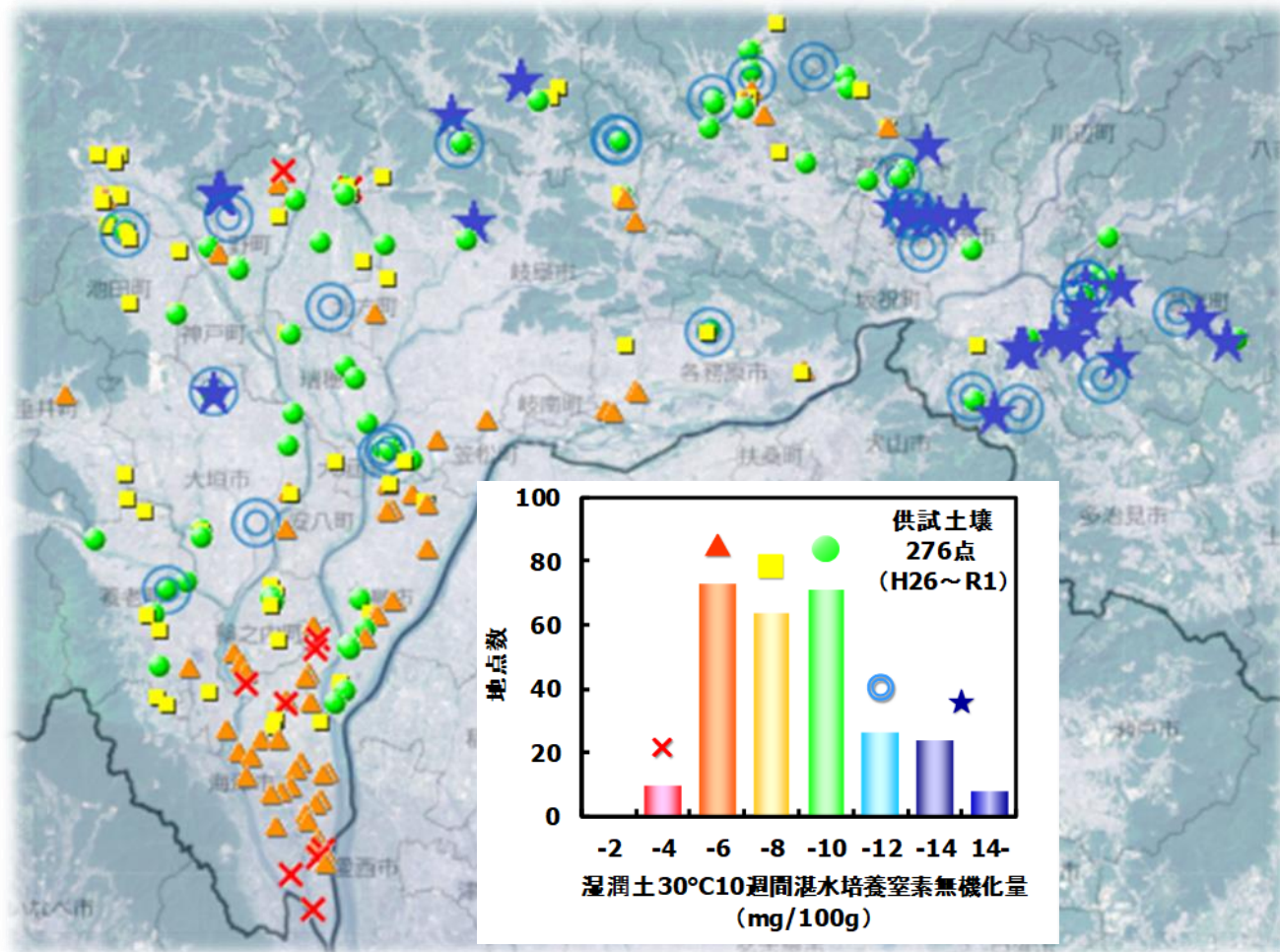
大豆の生産上の課題

単収が伸びていない

[地力の消耗] 長年の大豆作により、地力や有機質が減少



莢数の減少
大豆の小粒化

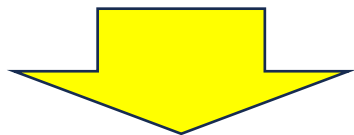


県農業技術センター 土壌化学部調 H27年～R元年

大豆ほ場の土づくり

[地力回復に向けた取組み]

- ・ 緑肥作付け
- ・ 堆肥の投入
- ・ 土づくり資材（腐植質）の投入
- ・ 基肥の増量



農林事務所農業普及課・JAなどが協力して、**現地試験**を実施

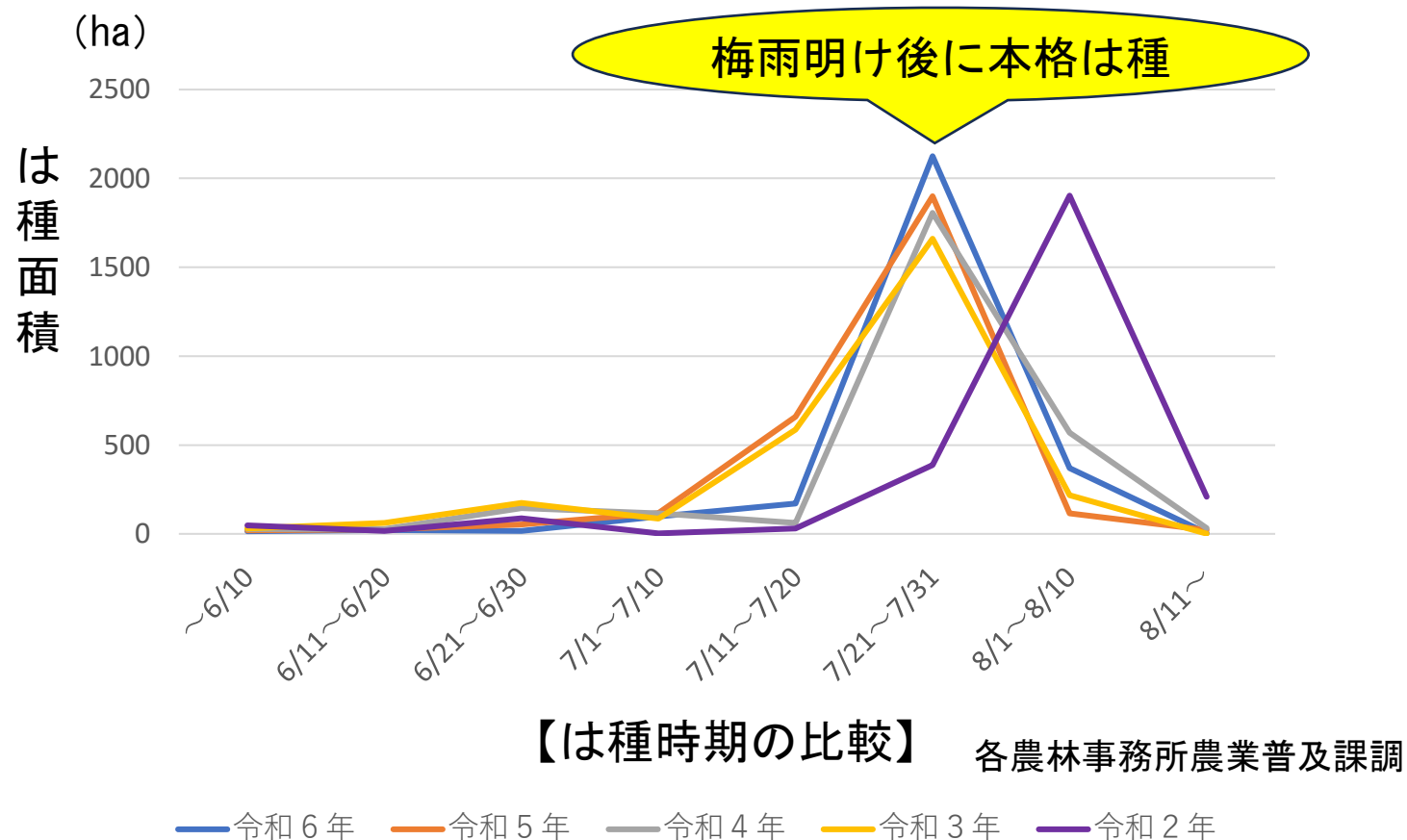
継続した取組みが必要



大豆の生産上の課題

[異常気象下での栽培]

● 猛暑、干ばつ、集中豪雨、台風、越冬害虫の増加



異常気象下での大豆生産

[水害・湿害への対策]

- ・排水路の整備、ほ場内の明渠と暗渠

[は種遅れの対策]

- ・狭畦は種
(栽植密度の増加・着莢位置の上昇)

[干ばつ対策]

- ・畝間灌水（稲作との水利調整が必要）

[害虫対策]

- ・ブームスプレーヤーやドローンによる、機械化防除



8月23日に注意報

今作での特記事項

その1：ハスモンヨトウの多発



【老齢幼虫】

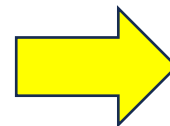
多犯性で大豆以外にも野菜・果樹・花でも被害

時には、民家にまで侵入し苦情が寄せられる場合もあり



【食害葉】

2回の基本防除で抑えきれず



発生動向を踏まえた防除
薬剤の選択

今作での特記事項

その2：多収性品種の試作

難裂莢性品種の試験は継続してきたが、多収性品種の試作は岐阜県初

実際の収量は？ 実需者の評価は？

【そらみのり】

- ・ 県奨励品種決定調査にて試作中
(県農業技術センター及び現地)

【そらみずき】

- ・ 中山間地域にて自主試験



【試作中のそらみのり】